

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課	下水道計画課
-----	--------

### 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	大雨・浸水への備え【安全・安心】	
	施策 9	浸水対策	
	取組 29	<b>重点化地区・局地的な浸水箇所における浸水対策</b>	
<b>取組の対象</b> (事業の対象となる人、物) <b>取組の目的</b> (対象をどのような状態にしたいか)		浸水対策施設の整備を行うことで、浸水被害の最小化を図り、水害に強いまちづくりを進めます。	
<b>取組の概要</b>		浸水リスクの高い重点化地区において浸水対策を進めるとともに、令和元年東日本台風により浸水被害が発生した排水樋管周辺地域をはじめ、地形的要因や排水施設の部分的な能力不足などにより発生している局地的な浸水箇所において、地域特性を踏まえた効果的な浸水対策を進めます。	
<b>計画期間の取組内容 (R4～R7)</b>		・重点化地区に位置付けた6地区(三沢川地区、土橋地区、京町・渡田地区、川崎駅東口周辺地区、大島地区、観音川地区)における対策の推進 ・局地的な浸水箇所における対策の推進(山王、宮内、諏訪、二子、宇奈根排水樋管周辺地域など) ・市内全域の排水樋管ゲートにおける電動化及び観測機器の設置等	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)		変更箇所	
		変更理由	

### 計 画 (Plan)

<b>今年度の取組内容</b>	①重点化地区における雨水管きよなどの整備の推進 ②局地的な浸水箇所における対策の推進 ③市内全域の排水樋管ゲートにおける電動化及び観測機器の設置等の推進
-----------------	--

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	①重点化地区における雨水管きよなどの整備の推進については、三沢川地区(菅北浦地区)、土橋地区で令和4年度に実施予定の浸水対策工事を計画どおり推進しましたが、過年度からの三沢川地区(菅・菅稲田堤地区)における令和元年東日本台風で記録した河川水位を踏まえた対策手法の見直しにより、目標を下回りました。また、川崎駅東口周辺地区、京町・渡田地区、大島地区、観音川地区で入江崎統合幹線による一体的な対策の実施に向けた検討及び関係部局との協議を実施しました。 ②局地的な浸水箇所における対策の推進については、諏訪排水樋管周辺地域において既存仮排水所のポンプ能力の増強工事を完了するとともに、山王排水樋管周辺地域においてバイパス管の布設工事を推進しました。また、ポンプゲート設備による中期対策の推進に向け、河川管理者との協議を進めました。さらに、個別の状況確認を踏まえた対策の推進として、千年地区の浸水対策工事を完了しました。 ③市内全域の排水樋管ゲートにおける電動化及び観測機器の設置等の推進については、宿河原排水樋管において整備を推進しました。
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	浸水対策実施率(三沢川、土橋、京町・渡田、川崎駅東口周辺、大島、観音川地区)	計画目標値	-	29.3	32.1	35.3	40.8	40.8		%
		説明	重点化地区の浸水対策完了済面積/浸水対策重点化地区対象面積×100(%)	実績	26.4	29.0	-	-			
2	活動指標	排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数	計画目標値	-	6 【65.2%】	7対策 【65.2%】	7対策 【65.2%】	7対策 【65.2%】	7対策 【床上浸水面積 65.2% 解消】		対策(%)
		説明	排水樋管周辺地域(山王、宮内、諏訪、二子、宇奈根地域)における短期対策、当面の対策、中期対策(計11対策)の実施数【 】の値は、令和元年東日本台風当日の床上浸水面積に対する解消率(想定)を示す。なお、中期対策が供用された場合(令和9(2027)年度予定)、75.4%解消する見込み。	実績	5対策 【64.4%】	6 【65.2%】	-	-			

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)	
							予算額	決算額
予算 決算 (単位: 千円)	下水	予算額	1,592,146			1,592,146	0	13,700,000
		繰越						
		決算額	1,900,136			1,900,136		
		予算額					0	
		繰越					0	
		決算額					0	

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)	
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3	近年多発する局地的な大雨や令和元年東日本台風などにより浸水被害が発生していることから、浸水被害を軽減させるより効果的・効率的な取組が必要となっています。
施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	重点化地区での浸水対策については、三沢川地区(菅・菅稲田堤地区)における対策手法の見直しにより目標を下回りましたが、三沢川地区(菅北浦地区)や土橋地区において浸水対策工事を推進したことにより活動指標が上昇しました。また、排水樋管周辺地域における対策の推進により活動指標である「排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数」の目標値を達成し、浸水被害の軽減に向けた取組を進めたことから、施策への貢献が図られました。

### 改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I	浸水対策事業のうち重点化地区における対策については、浸水被害の最小化を図り、水害に強いまちづくりを進めるため、着実な推進が必要となることから、今後も継続して効果的かつ効率的に事業を推進していきます。これらハード対策に加え、内水ハザードマップの活用などの自助を促すためのソフト対策を組み合わせ合わせた複合的な対策を関係機関とも連携しながら推進していきます。 局地的な浸水箇所における対策の推進については、排水樋管周辺地域において、当面の対策を推進するとともに、中期対策の整備及び長期対策の実現に向けた取組を着実に進めます。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	大雨・浸水への備え【安全・安心】	
	施策 9	浸水対策	
	取組 30	水処理センター・ポンプ場の耐水化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	水処理センター・ポンプ場の浸水対策を行うことで、浸水被害の最小化を図り、水害に強いまちづくりを進めます。		
取組の概要	河川氾濫等の災害時においても、最低限の下水処理など、一定の下水道施設の機能を確保するため、水処理センター・ポンプ場の耐水化を進めます。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	・水処理センター・ポンプ場の耐水化の推進(江川ポンプ場ほか)		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	①水処理センター・ポンプ場の耐水化の推進(江川ポンプ場ほか)
----------	--------------------------------

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	①水処理センター・ポンプ場の耐水化の推進については、江川ポンプ場及び戸手ポンプ場において耐水化を推進しました。
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	<b>水処理センター・ポンプ場の耐水化率</b>		計画目標値	-	50.0	58.3	70.8	83.3	83.3	%
		説明 災害時の施設浸水に向けた対策が完了したポンプ場、水処理センター数/ポンプ場、水処理センター数×100(%)		実績	50.0	50.0	-	-	-		
2				計画目標値							
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		下水	予算額 210,000 繰越 予算額 決算額 75,302				
予算 決算 (単位： 千円)	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分		3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)	
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			近年多発する局地的な大雨や令和元年東日本台風などにより浸水被害が発生していることから、浸水被害を軽減させるより効果的・効率的な取組が必要となっています。	
施策への貢献度	貢献度区分		A	施策の貢献度区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い			水処理センター・ポンプ場の耐水化の推進により、活動指標である「水処理センター・ポンプ場の耐水化率」の目標値を達成し、災害時における最低限の下水道機能を確保する取組を進めたことから、施策への貢献が図られました。	

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分		I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了			水処理センター・ポンプ場の耐水化については、浸水被害の最小化を図り、水害に強いまちづくりを進めるため、着実な推進が必要となることから、今後も継続して効果的かつ効率的に事業を推進していきます。	

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課	下水道計画課
-----	--------

### 取組の概要

施策体系上の位置づけ	<b>基本目標Ⅱ</b>	下水道による良好な循環機能の形成 
	<b>10年間の方向性</b>	災害時の機能維持【強靱】
	<b>施策 10</b>	下水道の管きよ・施設の地震対策
	<b>取組 31</b>	<b>下水管きよの地震対策</b>
<b>取組の対象</b> (事業の対象となる人、物) <b>取組の目的</b> (対象をどのような状態にしたいか)	下水管きよの地震対策を推進することで、大規模地震発生時においても下水道機能を確保し、市民生活を守ります。	
<b>取組の概要</b>	下水道機能の確保の優先度が高い避難所や重要な医療機関等と水処理センターとを結ぶ管きよを優先的に耐震化します。また、災害時にも下水処理機能を確保できるよう、水処理センターで発生する汚泥を処理施設に送る、汚泥圧送管を耐震化します。	
<b>計画期間の取組内容</b> (R4～R7)	・重要な管きよのうち、避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ管きよの耐震化の推進 ・汚泥圧送管の耐震化の推進(麻生水処理センター～等々力水処理センターほか)	
<b>当初の計画からの変更箇所とその理由</b> (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	<b>変更箇所</b>	
	<b>変更理由</b>	

### 計画 (Plan)

<b>今年度の取組内容</b>	①重要な管きよの耐震化の推進(川崎駅以北) ②汚泥圧送管の地震対策の推進
-----------------	---

## 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①重要な管きよの耐震化の推進については、川崎駅以北の約4.7kmを実施し、これまでに、約14.3kmの耐震化が完了しました。 ②汚泥圧送管の地震対策の推進については、麻生水処理センターから等々力水処理センターまでの約1.0kmを実施し、これまでに、約15.1kmの耐震化が完了しました。</p>
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きよの耐震化率	計画目標値	-	71.9	77.6	83.3	89.0	89.0		%
		説明	避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きよの耐震化完了延長/避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きよの延長×100(%)	実績	66.2	71.9	-	-			
2	活動指標	重要な管きよの耐震化率	計画目標値	-	87.7	88.4	89.1	89.7	89.7		%
		説明	重要な管きよの耐震化完了延長/重要な管きよの延長×100(%)	実績	87.0	87.7	-	-			

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		下水	2,805,378				
	繰越				0		
予算 決算 (単位： 千円)	予算額	3,288,277				3,288,277	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	<p>1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った</p>		<p>今後想定される大規模地震発生時においても、必要な下水道機能の確保に努め、市民生活への影響を最小限にするための取組が求められており、今後も継続的に推進していく必要があります。</p>
施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	<p>A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い</p>		<p>下水管きよの地震対策の推進により、活動指標である「重要な管きよの耐震化率」などの目標値を達成し、災害時に機能確保の優先度が高い管きよの耐震化を進めたことから、施策への貢献が図られました。</p>

## 改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	<p>I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了</p>		<p>下水管きよの地震対策については、重要な下水管きよなど、被災時に必要となる下水道機能に重点化を図り、被災時においても市民生活への影響を最小限に抑える対策を進めるため、今後も継続して事業を推進していきます。</p>

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	災害時の機能維持【強靱】	
	施策10	下水道の管きよ・施設の地震対策	
	取組32	<b>水処理センター・ポンプ場の地震対策</b>	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	水処理センター・ポンプ場の地震対策を推進することで、大規模地震発生時においても下水道機能を確保し、市民生活を守ります。		
取組の概要	市街地での下水の滞留・溢水を防止するため、下水を汲み上げ下流に流す機能(揚水機能)や、下水を消毒し公衆衛生を確保する機能(消毒機能)を持つ施設を優先的に耐震化します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水処理センターの揚水機能の確保(麻生水処理センター)</li> <li>・ポンプ場の汚水揚水機能の確保(小向ポンプ場など)</li> <li>・水処理センターの消毒機能の確保(入江崎水処理センター)</li> <li>・燃料貯蔵容量の確保(麻生水処理センターなど)</li> <li>・設備更新などに合わせた水処理センター・ポンプ場の耐震化の推進</li> </ul>		
当初の計画からの変更箇所とその理由(取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	①水処理センター、ポンプ場の耐震化の推進
----------	----------------------

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	①水処理センター、ポンプ場の耐震化の推進については、汚水揚水機能の確保に向けた取組として、麻生水処理センターにおいて耐震診断を実施し、耐震性能が確保されていることを確認しました。また、消毒機能確保に向けた取組として入江崎水処理センターにおいて工事を推進しました。
--	---

指標分類		指標名 説明	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値	単位
1	活動 指標	<b>水処理センターの揚水機能確保率</b>	計画目標値	-	100	100	100	100	100		%
		説明 災害時の揚水機能の確保に向けた対策が完了した水処理センター数/水処理センター数×100(%)	実績	75.0	100	100	100	100			
2	活動 指標	<b>ポンプ場の汚水揚水機能確保率</b>	計画目標値	-	54.5	63.6	72.7	100	100		%
		説明 災害時の揚水機能の確保に向けた対策が完了したポンプ場数/汚水ポンプ場数×100(%)	実績	54.5	54.5	-	-	-			
3	活動 指標	<b>水処理センターの消毒機能確保率</b>	計画目標値	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0		%
		説明 災害時の消毒機能の確保に向けた対策が完了した水処理センター数/水処理センター数×100(%)	実績	50.0	50.0	-	-	-			
4	活動 指標	<b>下水道施設の燃料貯蔵容量確保率</b>	計画目標値	0	0	4.2	8.3	16.7	16.7		%
		説明 災害時の燃料貯蔵容量の確保に向けた対策が完了したポンプ場、水処理センター、スラッジセンター数/ポンプ場、水処理センター、スラッジセンター数×100(%)	実績	0	0	-	-	-			

予算 決算 (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)	
	下水	予算額	1,190,791						1,190,791
		繰越							0
		予算額							0
		決算額	659,365						659,365
		予算額							0
	繰越						0		
	予算額						0		
	決算額						0		

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		今後想定される大規模地震発生時においても、必要な下水道機能の確保に努め、市民生活への影響を最小限にするための取組が求められており、今後も継続的に推進していく必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		下水道施設の地震対策の推進により、活動指標である「水処理センターの消毒機能確保率」などの目標値を達成し、災害時における最低限の下水道機能を確保する施設の耐震化を進めたことから、施策への貢献が図られました。

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		水処理センター・ポンプ場の地震対策については、下水道施設の汚水揚水機能など、被災時に必要となる下水道機能に重点化を図り、被災時においても市民生活への影響を最小限に抑える対策を進めるため、今後も継続して事業を推進していきます。



## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課 経営戦略・危機管理室〔危機管理〕

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	災害時の機能維持	
	施策 11	下水道の危機管理対策	
	取組 33	災害対応能力の強化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		大規模地震や風水害などに対する災害対応能力の強化を進めることにより、発災時の下水道サービス低下による市民生活への影響を最小限に抑えます。	
取組の概要		大規模地震や激甚化・頻発化する風水害などを踏まえ、PDCAサイクルによる訓練の実施、振り返り、改善を継続的にを行い、上下水道局防災計画及び業務継続計画の検証・見直しによる実効性の向上、災害対応能力の強化を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルによる上下水道局防災計画及び業務継続計画の検証・見直し</li> <li>・職員を対象とした訓練・研修の継続的な実施</li> <li>・排水ポンプ車運用訓練の実施</li> <li>・災害用通信体制の構築</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画(Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①職員を対象とした訓練・研修の継続的な実施</li> <li>②ビデオ会議システム及び内線電話システムの構築</li> </ul>
----------	--

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①職員を対象とした訓練・研修の継続的な実施については、情報連絡訓練や発災時参集訓練、相互応援訓練等を6回実施し、実施後のアンケート調査結果による理解度向上率も目標を達成し、災害対応力の強化を図ることができました。</p> <p>②ビデオ会議システムについては、令和5年度に予定されている第3庁舎への移転後の運用開始に向け、調整を図りました。また、内線電話システムについては、本庁舎、長沢浄水場、等々力水処理センターの3拠点におけるシステム構築が完了しました。</p>
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	局訓練・研修後のアンケート調査結果による理解度	計画目標値	-	80	80	80	80	80		%
		説明	理解度向上者数/アンケート回答者×100(%) (年平均)	実績	-	95					
2	活動指標	排水ポンプ車運用訓練実施回数	計画目標値	-	15	15	15	15	15		回
		説明	浸水対策用排水ポンプ車【運用マニュアル】に基づく排水ポンプ車運用訓練の実施回数	実績	18	20					
3			計画目標値								
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
予算 決算 (単位： 千円)	予算額	取組37「水処理センター・ポンプ場の設備更新・長寿命化」に含まれる。					
	繰越						
	予算額						
	決算額						
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目標を大きく上回って達成</li> <li>2. 目標を上回って達成</li> <li>3. 目標をほぼ達成</li> <li>4. 目標を下回った</li> <li>5. 目標を大きく下回った</li> </ol>		<p>災害時の対応については、PDCAサイクルによる訓練の実施、振り返り、改善を継続的にを行い、実効性の向上、災害対応能力の強化を進めることが求められます。</p>


施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 貢献している</li> <li>B. やや貢献している</li> <li>C. 貢献の度合いが薄い</li> </ol>		<p>局防災計画等の改訂を進め、より実効性を高めていることや、各種災害対策訓練の実施により防災対応能力の向上が図れたことから、施策に貢献しています。</p>

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	II	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	<ol style="list-style-type: none"> <li>I. 現状のまま継続</li> <li>II. 改善しながら継続</li> <li>III. 取組規模拡大</li> <li>IV. 取組規模縮小</li> <li>V. 取組廃止</li> <li>VI. 取組終了</li> </ol>		<p>防災計画と業務継続計画については、訓練等を行った結果から常にブラッシュアップしていき、実効性を高めていきます。</p>

# 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課 経営戦略・危機管理室（危機管理）

取組の概要	
施策体系上の位置づけ	<b>基本目標Ⅱ</b> 下水道による良好な循環機能の形成 
	<b>10年間の方向性</b> 災害時の機能維持
	<b>施策 11</b> 下水道の危機管理対策
	<b>取組 34</b> <b>災害時の連携強化と災害リスク情報の発信の推進</b>
<b>取組の対象</b> （事業の対象となる人、物） <b>取組の目的</b> （対象をどのような状態にしたいか）	大規模地震や風水害などに対する災害対応能力の強化を進めることにより、発災時の下水道サービス低下による市民生活への影響を最小限に抑えます。
<b>取組の概要</b>	大規模地震や激甚化・頻発化する風水害などを踏まえ、広域的な応援体制の構築につながる大都市等との訓練の継続的な実施により、災害時の連携強化を進めます。また、災害時の被害の最小化や災害リスク情報を発信するための取組について、関係機関とも連携しながら推進します。
<b>計画期間の取組内容</b> （R4～R7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他都市と連携した訓練の継続的な実施</li> <li>・大都市間等との広域連携による応援体制の強化</li> <li>・民間事業者等との協力体制の充実</li> <li>・内水ハザードマップ及び浸水実績図の周知</li> <li>・水位周知下水道における水位情報の周知（堀川幹線）</li> <li>・観測機器から得られる排水樋管情報の提供</li> <li>・災害時のトイレ対策のあり方についての全庁的な検討に基づく取組の推進</li> </ul>
<b>当初の計画からの変更箇所とその理由</b> （取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入）	<b>変更箇所</b>
	<b>変更理由</b>
計 画（Plan）	
<b>今年度の取組内容</b>	①他都市との訓練 ②災害リスク情報の発信

## 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①他都市と連携した訓練については、下水道大都市ルールによる訓練等を4回実施し、災害時の連携強化を図ることができました。</p> <p>②災害リスク情報の発信については、内水ハザードマップや災害時のトイレ問題について、広報誌「かわさきの上下水道」による周知とともに、各自主防災組織連絡協議会や市及び各区総合防災訓練、市防災イベント「そなえるフェスタ」などで積極的に周知を行いました。</p>
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		予算額					
予算 決算 (単位： 千円)	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	<p>1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った</p>		<p>実効性を高めるための訓練を継続して行う必要があります。また、想定しうる最大規模の水害リスク等の災害リスク情報を市民の皆様様に提供し、自助、共助を促す取組を継続して実施する必要があります。</p>

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	<p>A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い</p>		<p>各種災害対策訓練の実施により防災対応能力の向上や災害時の連携が図れたことや、災害リスク情報の発信により応急対策の推進が図れたことから、施策に貢献しています。</p>

## 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	II	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	<p>I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了</p>		<p>災害時の連携を強化していくためには、大都市間の情報共有や訓練が重要であるため、引き続き取組を継続していきます。</p>

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	下水道管きよ・施設の適切な管理と更新【持続】	
	施策 12	下水道の管きよ・施設の老朽化対策	
	取組 35	<b>下水管きよの再整備</b>	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		老朽化施設に対し、アセットマネジメントの取組による適切なリスク評価をすることで、計画的な老朽化対策を進め、安定した下水道サービスを将来にわたり継続的に提供します。	
取組の概要		施設の劣化状況を適切に把握し、中長期的な視点を踏まえ、リスクとコストのバランスを考慮しながら最適な管きよの再整備を行い、老朽化対策を進めるとともに、再整備と合わせて耐震化等の機能向上を図るなど、効率的・効果的に事業を推進します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>管きよ再整備重点地域における老朽化した管きよの再整備（入江崎処理区、加瀬処理区の一部）</li> <li>汚泥圧送管の再整備（等々力水処理センター～戸手ポンプ場）</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由（取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入）	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	①老朽化した下水管きよの再整備の推進
----------	--------------------

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b>                  (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①老朽化した下水管きよの再整備の推進については、管きよ再整備重点地域として位置付けた入江崎処理区及び加瀬処理区の一部において約2.6km実施するとともに、汚泥圧送管の老朽化対策を約3.4km実施しました。</p>
---	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
		説明									
1	活動指標	<b>管きよ再整備率</b>		計画目標値	-	36.9	37.7	39.0	39.8	39.8	%
		説明	再整備実施延長/再整備対策延長×100(%) ※再整備対策延長:入江崎処理区及び加瀬処理区の一部	実績	36.4	36.9	-	-	-		
2	活動指標	<b>汚泥圧送管の再整備率</b>		計画目標値	-	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	%
		説明	再整備完了箇所数/再整備対象箇所数×100(%)	実績	12.5	12.5	-	-	-		
3				計画目標値							
				実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		下水	1,658,535				
	繰越				0		
	予算額						
	決算額	1,544,398				1,544,398	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	<b>3</b>

施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	<b>A</b>

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	<b>I</b>

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	下水道管きよ・施設の適切な管理と更新【持続】	
	施策 12	下水道の管きよ・施設の老朽化対策	
	取組 36	<b>水処理センター・ポンプ場の再構築</b>	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		老朽化施設に対しアセットマネジメントの取組による適切なリスク評価をすることで、計画的な老朽化対策を進め、安定した下水道サービスを将来にわたり継続的に提供します。	
取組の概要		施設の劣化状況を適切に把握し、中長期的な視点を踏まえ、リスクとコストのバランスを考慮しながら最適な施設の再構築を行い、老朽化対策を進めるとともに、再構築と合わせて耐震化・省エネ化等の機能向上を図るなど、効率的・効果的に事業を推進します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入江崎総合スラッジセンター1系焼却炉の再構築 (R8完成)</li> <li>・渡田ポンプ場の再構築 (R9完成)</li> <li>・大師河原ポンプ場の再構築</li> <li>・六郷ポンプ場の再構築</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	①水処理センター・ポンプ場の設備更新や再構築の推進
----------	---------------------------

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b>                  (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①水処理センター・ポンプ場の再構築の推進については、入江崎総合スラッジセンター、渡田ポンプ場、大師河原ポンプ場において、施設の再構築を推進しました。</p>
---	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位	
	説明											
1	説明		計画目標値									
			実績									
2	説明		計画目標値									
			実績									
3	説明		計画目標値									
			実績									
<b>予算 決算</b> (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)				
	下水	予算額	350,000				350,000	13,100,000				
		繰越					0					
		予算額										
		決算額	265,921				265,921					
		予算額					0					
		繰越					0					
		予算額					0					
決算額						0						

### 評価 (Check)

<b>今年度の取組内容に対する達成度</b>	達成度区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載) 下水道サービスを安定して提供し続けるため、急増する老朽化施設の再整備や再構築等を計画的に推進する必要があることから、今後も継続的に推進していく必要があります。
	貢献度区分 A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	施策の貢献度区分を選んだ理由 計画に基づき、入江崎総合スラッジセンター、渡田ポンプ場、大師河原ポンプ場における施設の再構築の推進により、下水道施設の健全性の確保に向けた取組を進めたことから、施策への貢献が図られました。

### 改善 (Action)

<b>今後の取組の方向性</b>	方向性区分 I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 水処理センター・ポンプ場の再構築については、安定的に質の高い下水道サービスを継続的に提供するため、着実な推進が必要となることから、今後も継続して効果的かつ効率的に事業を推進していきます。
------------------	---	---	--




## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	下水道管きよ・施設の適切な管理と更新【持続】	
	施策 12	下水道の管きよ・施設の老朽化対策	
	取組 37	<b>水処理センター・ポンプ場の設備更新・長寿命化</b>	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		老朽化施設に対しアセットマネジメントの取組による適切なリスク評価をすることで、計画的な老朽化対策を進め、安定した下水道サービスを将来にわたり継続的に提供します。	
取組の概要		施設の劣化状況を適切に把握し、中長期的な視点を踏まえ、リスクとコストのバランスを考慮しながら最適な施設の設備更新・長寿命化を行い、老朽化対策を進めるとともに、設備更新・長寿命化と合わせて耐震化・省エネ化等の機能向上を図るなど、効率的・効果的に事業を推進します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクルコストを最小化した設備更新・長寿命化の継続</li> <li>・光ファイバーケーブル網の更新</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ライフサイクルコストを最小化した設備更新・長寿命化の継続</li> <li>②光ファイバーケーブル網の更新</li> </ul>
----------	--

### 実施結果 (Do)

#### 取組内容の実績及び定性的成果

(上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)

- ①水処理センター・ポンプ場の設備更新の推進については、京町ポンプ場の設備更新を実施しました。
- ②光ファイバーケーブル網の更新については、入江崎水処理センターから江川ポンプ場間の更新工事を推進しました。

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位	
	説明											
1	説明		計画目標値									
			実績									
2	説明		計画目標値									
			実績									
3	説明		計画目標値									
			実績									
予算 決算 (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)				
	下水	予算額	3,964,049				3,964,049	10,800,000				
		繰越					0					
		予算額										
		決算額	3,145,331				3,145,331					
		予算額					0					
		繰越					0					
		予算額					0					
決算額						0						

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分		実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)	
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		3	下水道サービスを安定して提供し続けるため、急増する老朽化施設の再整備や再構築等を計画的に推進する必要があることから、今後も継続的に推進していく必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分		施策の貢献度区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	計画に基づき、京町ポンプ場の設備更新を実施したほか、入江崎水処理センターから江川ポンプ場間における光ファイバーケーブル網の更新の推進により、下水道施設の健全性の確保に向けた取組を進めたことから、施策への貢献が図られました。	

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		I	水処理センター・ポンプ場の設備更新・長寿命化については、安定的に質の高い下水道サービスを継続的に提供するため、着実な推進が必要となることから、今後も継続して効果的かつ効率的に事業を推進していきます。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	下水道管きよ・施設の適切な管理と更新【持続】	
	施策13	下水道の管きよ・施設の維持管理	
	取組38	下水管きよの維持管理	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		下水管きよの維持管理については、管きよを健全な状態に保つため、計画的な点検・調査、修繕等による予防保全を組み合わせた維持管理を実施し、安定した下水道サービスを提供します。	
取組の概要		下水管きよの維持管理は、管きよを健全な状態に保つため、計画的な点検・調査、修繕等による予防保全を組み合わせた維持管理を実施します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>下水管きよの計画的な清掃、点検・調査、修繕等の実施</li> <li>アセットマネジメント情報システムによる維持管理情報の蓄積・管理・分析</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画(Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①下水管きよの計画的な清掃、点検・調査、修繕等の実施</li> <li>②アセットマネジメント情報システムによる維持管理情報の蓄積・管理・分析</li> </ul>
----------	---

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b>                  (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①下水管きよの計画的な清掃、点検・調査、修繕等を実施しました。                  ②アセットマネジメント情報システムによる維持管理情報の蓄積・管理・分析を行い、下水管きよの健全度予測やリスク評価を実施しました。</p>
---	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値								
			実績								
2	説明		計画目標値								
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		下水	予算額 1,423,612 繰越 0 予算額 1,118,789 決算額				
予算 決算 (単位： 千円)	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		今後老朽化した管きよ・施設が更に急増することが見込まれており、適切な修繕整備や施設管理が求められていることから、今後も継続的に推進していく必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		下水管きよの計画的な清掃、点検・調査、修繕等の実施や、アセットマネジメント情報システムを活用し、維持管理情報を一元的に蓄積・管理するとともに、それらの情報等に基づき施設管理状況の把握・評価を行い、各施策に活用したことで、施策への貢献が図られました。

### 改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		下水管きよの維持管理は、安定的に質の高い下水道サービスを継続的に提供するため、着実な推進が必要となることから、今後も継続して効果的かつ効率的に事業を推進していきます。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	下水道管きよ・施設の適切な管理と更新【持続】	
	施策 13	下水道の管きよ・施設の維持管理	
	取組 39	<b>水処理センター・ポンプ場施設の維持管理</b>	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		水処理センター・ポンプ場の維持管理については、水処理センター・ポンプ場施設を健全な状態に保つため、計画的な点検・調査、修繕等による予防保全を組み合わせた維持管理を実施し、安定した下水道サービスを提供します。	
取組の概要		水処理センター・ポンプ場施設を健全な状態に保つため、計画的な点検・調査、修繕等による予防保全を組み合わせた維持管理を実施します。また、放流水質基準の遵守、エネルギーの適切な管理など、これまで蓄積した知識と経験等に基づき水処理センター・ポンプ場を適正に運転管理します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水処理センター・ポンプ場の計画的な保守点検・調査、修繕等の実施</li> <li>・水処理センター・ポンプ場の適切な運転管理の実施</li> <li>・アセットマネジメント情報システムによる維持管理情報の蓄積・管理・分析</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)		変更箇所	
		変更理由	

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①水処理センター・ポンプ場の計画的な保守点検・調査、修繕等の実施</li> <li>②水処理センター・ポンプ場の適切な運転管理の実施</li> <li>③アセットマネジメント情報システムによる維持管理情報の蓄積・管理・分析</li> </ul>
----------	---

## 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	①水処理センター・ポンプ場の計画的な清掃、点検・調査、修繕等を実施しました。 ②水処理センター・ポンプ場の適切な運転管理を実施しました。 ③アセットマネジメント情報システムによる維持管理情報の蓄積・管理・分析を行い、施設の健全度予測やリスク評価を実施しました。
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値								
			実績								
2	説明		計画目標値								
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		下水	3,040,368				
	予算額					0	
	繰越						
	予算額						
	決算額	2,605,080				2,605,080	
	繰越						
	予算額					0	
	繰越						
	予算額					0	
	決算額					0	

(単位：千円)

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3

施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A

## 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	快適で暮らしやすい水環境の創造【環境】	
	施策 14	下水道の高度処理	
	取組 40	水処理センターの高度処理化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		水処理センターの高度処理化を推進することで、東京湾の水質環境基準を、流域内の都市と連携して達成・維持し、快適な水環境を確保します。	
取組の概要		東京湾流域別下水道整備総合計画で定められた目標水質の達成に向け、今後も富栄養化の原因物質とされる窒素やリンの除去などを目的とした取組を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・等々力水処理センターにおける流量調整池の整備・既設反応タンクの改造・脱窒ろ過池の整備</li> <li>・入江崎水処理センター東系施設への段階的・高度処理の導入</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画(Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①水処理センターの施設整備による更なる高度処理化の推進</li> <li>②既存施設の一部改造や運転管理の工夫による段階的な高度処理の導入に向けた取組の推進</li> </ul>
----------	--

## 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①水処理センターの施設整備による更なる高度処理化の推進については、等々力水処理センターにおいて、高度処理化に向けた工事を推進しました。 ②既存施設の一部改造や運転管理の工夫による段階的の高度処理の導入に向けた取組の推進については、入江崎水処理センター(東系)において、既存施設を活用した運転管理の工夫による段階的の高度処理を導入するための実証実験を開始しました。</p>
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	<b>高度処理普及率</b>		計画目標値	-	59.3	59.3	100	-	100	%
		説明	全高度処理能力/全計画処理能力×100(%) ※高度処理として取り扱うことのできる処理方法等を含む。	実績	59.3	59.3	-	-	-		
2				計画目標値							
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		下水	予算額 4,975,000				
	繰越				0		
	予算額						
	決算額	6,539,973			6,539,973		
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

(単位：千円)

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目標を大きく上回って達成</li> <li>2. 目標を上回って達成</li> <li>3. 目標をほぼ達成</li> <li>4. 目標を下回った</li> <li>5. 目標を大きく下回った</li> </ol>		

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 貢献している</li> <li>B. やや貢献している</li> <li>C. 貢献の度合いが薄い</li> </ol>		

## 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	<ol style="list-style-type: none"> <li>I. 現状のまま継続</li> <li>II. 改善しながら継続</li> <li>III. 取組規模拡大</li> <li>IV. 取組規模縮小</li> <li>V. 取組廃止</li> <li>VI. 取組終了</li> </ol>		



## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	快適で暮らしやすい水環境の創造【環境】	
	施策 15	合流式下水道の改善	
	取組 41	合流式下水道の改善	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		汚濁負荷の高い初期雨水の貯留や遮集管の能力増強などにより、合流式下水道からの雨天時越流水による、公共用水域の水質汚濁の防止を図り、公衆衛生上の安全などを確保します。	
取組の概要		合流式下水道の改善を確実に進めていくため、令和5(2023)年度末までに達成すべき技術上の基準が下水道法施行令で定められていることから、この技術上の基準を満たすよう、本市が定めた当面の改善目標の達成に向けた取組を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大師河原貯留管を合流改善対策施設として活用するための大師河原ポンプ場の改築</li> <li>・六郷遮集幹線の整備</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	①合流式下水道の改善の推進
----------	---------------

### 実施結果 (Do)

#### 取組内容の実績及び定性的成果

(上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)

①合流式下水道の改善の推進については、大師河原ポンプ場の汚水沈砂池などの改築を推進するとともに、令和5年度の完成に向けて六郷遮集幹線の工事を推進しました。

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	合流式下水道改善率		計画目標値	-	73.5	100	-	-	100	%
		説明	合流式下水道改善対策完了区域面積／合流式下水道区域面積×100(%)	実績	73.5	73.5	-	-	-		
2				計画目標値							
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							
予算 決算 (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)			
		下水	予算額	2,995,988					2,995,988	7,600,000	
	繰越						0				
	予算額										
	決算額		2,072,170				2,072,170				
		予算額					0				
		繰越					0				
		予算額					0				
決算額						0					

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)	
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3	快適な水辺環境の創出と公衆衛生上の安全を確保するため、下水道法施行令に基づき合流改善対策を令和5年度までに完了させる必要があることから、今後も継続的に推進していく必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	大師河原ポンプ場の改築を推進するとともに、六郷遮集幹線の布設工事を推進するなど、合流式下水道の改善事業の取組内容を着実に推進し、水質汚濁の防止や公衆衛生上の安全の確保に向けた取組を進めたことから、施策への貢献が図られました。

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	快適で暮らしやすい水環境の創造【環境】	
	施策 16	下水道の未普及地域の解消	
	取組 42	下水道の未普及地域の解消	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		下水道の未普及地域を解消し、全ての市民が下水道を利用できるようにします。	
取組の概要		下水道の未普及地域の解消は、下水道処理人口普及率100%達成を目指し、主な下水道の未整備地区である土地区画整理事業区域内や河川沿いの区域における下水道整備の推進など、未普及地域の解消に向けた取組を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		・登戸土地区画整理地区や河川沿いなどの未普及地域の解消に向けた下水道の整備の推進	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	①未普及地域解消に向けた下水道の整備の推進
----------	-----------------------

## 実施結果 (Do)

取組内容の実績及び  
定性的成果

(上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)

①未普及地域解消に向けた下水道の整備の推進については、登戸地区や南生田地区で下水管きよの整備を推進しました。

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値	単位
	説明										
1	活動 指標	下水道処理人口普及率		計画目標値	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5		%
		説明	下水道が整備された区域に居住する人口 /各年度末における行政区域人口× 100(%)	実績	99.5	99.5	-	-			
2				計画目標値							
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							
予算 決算 (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)			
	下水	予算額	69,260				69,260	200,000			
		繰越					0				
		予算額									
		決算額	362,782				362,782				
		予算額					0				
		繰越					0				
		予算額					0				
決算額						0					

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分		実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)	
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3	下水道整備による公衆衛生の向上や河川・海域等の水質保全のため、今後も継続的に推進していく必要があります。	
施策への貢献度	貢献度区分		施策の貢献度区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	未普及地域の管きよ整備の推進により、活動指標である「下水道処理人口普及率」の目標値を達成し、快適で暮らしやすいまちづくりに向けた取組を進めたことから、施策への貢献が図られました。	

## 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I	下水道の未普及地域の解消については、快適で暮らしやすいまちづくりに向けて着実な推進が必要となることから、今後も継続して取組を推進していきます。	

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道水質課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	快適で暮らしやすい水環境の創造【環境】	
	施策 17	下水道の事業場指導・水質管理	
	取組 43	事業場排水の指導	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		事業場排水の指導を実施することで、水質基準を超過する排水を未然に防止し、水処理センターからの良好な放流水質を確保します。	
取組の概要		有害物質等を取り扱うなど下水道への排水を監視する必要がある事業場に対して立入調査を行い、排水指導を継続して実施します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		・下水道への排水について監視する必要がある事業場への立入調査の継続実施	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<p>①有害物質等を取り扱うなど監視を必要とする事業場に対する、年間を通じた事前通告なしの立入調査の実施</p> <p>②事業場排水の採水、水質検査・監視とともに、有害物質等の取扱状況や施設の維持管理状況の確認による指導の実施</p>
----------	---

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b>                  (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①有害物質等を取り扱うなど監視を必要とする事業場に対して、年間を通じて事前通告なしに立入調査を実施しました。                  ②事業場排水を採水し、水質検査・監視を行うとともに、有害物質等の取扱状況や施設の維持管理状況を確認し、指導を行いました。                  ①②により水質基準を超過する排水の未然防止を図り、水処理センターからの良好な放流水質を確保することができました。</p>
---	---

指標分類	指標名 説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値	単位
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		下水	予算額 繰越 予算額 決算額	— —	— —		
予算 決算 (単位： 千円)	下水	予算額				0	
		繰越				0	
		予算額				0	
		決算額				0	

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		水質基準の項目追加等の検討が重ねられている中で、事業場排水の指導に関する取組が、引き続き求められています。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		事業場排水の適切な指導により、水質基準違反の未然防止を図ることができ、施策に貢献しています。

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		公共用水域の水質保全に向け継続した取組が必要なことから、下水道への排水について監視する必要のある事業場への立入調査を継続して実施していきます。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道水質課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	快適で暮らしやすい水環境の創造【環境】	
	施策17	下水道の事業場指導・水質管理	
	取組44	良好な放流水質の確保	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	水処理センターで適正な水質管理を実施することで、良好な放流水質を確保し、きれいな水を継続して川や海に返します。		
取組の概要	流入下水の変動に対応した水処理状況を把握するために、処理過程の段階ごとに必要な水質検査を定期的に行い、適正な水質管理を継続します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	・水処理センターでの処理過程ごとの定期的な水質検査による適正な水質管理の継続実施		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画(Plan)

今年度の取組内容	①水処理センターでの処理過程ごとの定期的な水質検査の実施
----------	------------------------------

## 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b>                  (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①水処理センターでの処理過程ごとの定期的な水質検査を実施しました。                  これにより、流入下水の変動に対応した適正な水質管理を行い、水処理センターからの良好な放流水質を確保することができました。</p>
---	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	<b>放流水の水質基準適合率</b>		計画目標値	-	100	100	100	100		%
		説明	放流水試験の結果、法に定める水質基準に適合した回数／放流水試験を実施した回数×100(%)	実績	100	100					
2				計画目標値	-						
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		下水	予算額	—	—		
		繰越				0	
		予算額				0	
		決算額				0	
		予算額				0	
		繰越				0	
		予算額				0	
		決算額				0	

(単位：千円)

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		

## 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		



## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	地球環境への配慮【環境】	
	施策 18	下水道の地球温暖化対策	
	取組 45	<b>地球温暖化対策</b>	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		下水道事業による2050年の温室効果ガス排出量の実質ゼロ達成を目指します。	
取組の概要		汚泥焼却施設の再構築に合わせた温室効果ガス排出量の削減、再生可能エネルギーの活用、高効率機器の導入及び最適な運転管理などにより省エネルギー化に向けた取組を進めることで、温室効果ガスの排出量を削減します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の更新に合わせた高効率機器・省エネルギー機器の導入</li> <li>・再生可能エネルギーの活用に向けた取組の推進</li> <li>・最適な運転管理などによる省エネルギー化の取組の推進</li> <li>・入江崎総合スラッジセンター1系焼却炉の再構築に合わせた温室効果ガス削減の取組の推進</li> <li>・地球温暖化対策に資する下水道技術開発の取組の推進</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①入江崎総合スラッジセンター1系焼却炉の再構築</li> <li>②省エネ・創エネ機器の導入等による温室効果ガス排出削減に向けた取組の推進</li> </ul>
----------	---

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)		①入江崎総合スラッジセンターにおいて1系焼却炉の再構築を推進しました。 ②省エネ・創エネ機器の導入等による温室効果ガス排出削減に向けた取組については、大師河原ポンプ場において、設備更新に併せた省エネ機器の導入を実施しました。									
指標分類	指標名 説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値	単位
1	活動 指標	<b>温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)</b> 2013年度の温室効果ガス排出量に対する削減割合 ※目標値を算定する上で使用する電力排出係数は、川崎市地球温暖化対策推進基本計画において市役所の温室効果ガス排出目標量を算定する際に使用した値を用いる。	計画目標値	-	22.7	24.2	25.9	27.7	27.7		%
		実績	15.9	22.7	-	-	-				
2		説明	計画目標値								
			実績								
<b>予算 決算</b> (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)			
	下水	予算額	取組36「水処理センター・ポンプ場の再構築」 取組37「水処理センター・ポンプ場の設備更新・長寿命化」に含まれる								
		繰越									
		予算額									
		決算額									
	予算額					0					
	繰越					0					
	予算額					0					
	決算額					0					

### 評価 (Check)

<b>今年度の取組内容に対する達成度</b>	達成度区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	<b>3</b>	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載) 脱炭素社会の実現に貢献するため、温室効果ガス排出量の削減に向けて着実な推進が必要となることから、今後も継続的に推進していく必要があります。
	貢献度区分 A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		<b>A</b>

### 改善 (Action)

<b>今後の取組の方向性</b>	方向性区分 I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	<b>I</b>	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 下水道の地球温暖化対策については、契約電力会社の電力排出係数が、地球温暖化対策推進基本計画の想定値を上回る一方、汚泥焼却施設の高温焼却化による一酸化二窒素の削減などに取り組み、活動指標の目標値は達成しました。 脱炭素社会の実現に貢献するため、入江崎総合スラッジセンター1系焼却炉の再構築、省エネ・創エネ機器の導入など、温室効果ガス排出量の削減に計画どおり継続して取り組むとともに、庁内の一層の節電といった省エネルギー対策など改善を図っていきます。
------------------	---	----------	---

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課	下水道計画課
-----	--------

取組の概要	
施策体系上の位置づけ	<b>基本目標Ⅱ</b> 下水道による良好な循環機能の形成 
	<b>10年間の方向性</b> 地球環境への配慮【環境】
	<b>施策 19</b> 下水道の資源・施設の有効利用
	<b>取組 46</b> <b>資源・施設の有効利用</b>
<b>取組の対象</b> (事業の対象となる人、物) <b>取組の目的</b> (対象をどのような状態にしたいか)	循環型社会の構築や快適な地域環境の創造に向けて、下水道の持つ資源と施設の有効利用を推進します。
<b>取組の概要</b>	下水道の持つ資源(下水・処理水・汚泥・熱)や、施設(水処理センターの上部空間)の有効利用を推進します。
<b>計画期間の取組内容</b> (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度処理水の利用の継続(江川せせらぎ水路、洗車用水など)</li> <li>下水汚泥(焼却灰)の有効利用の継続</li> <li>汚泥焼却熱の有効利用の継続(入江崎余熱利用プール)</li> <li>下水道施設の空間利用の継続(加瀬水処理センターなど)</li> </ul>
<b>当初の計画からの変更箇所とその理由</b> (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	<b>変更箇所</b>
	<b>変更理由</b>

計画(Plan)	
<b>今年度の取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高度処理水の利用の継続(江川せせらぎ水路、洗車用水など)</li> <li>②下水汚泥(焼却灰)の有効利用の継続</li> <li>③汚泥焼却熱の有効利用の継続(入江崎余熱利用プール)</li> <li>④下水道施設の空間利用の継続(加瀬水処理センターなど)</li> </ul>

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①江川せせらぎ水路や近隣企業者へ提供など、高度処理水の利用を継続しました。                  ②焼却灰のセメント原料化を推進し、下水汚泥(焼却灰)の有効利用を継続しました。                  ③入江崎余熱利用プールなどで汚泥焼却熱の有効利用を継続しました。                  ④加瀬水処理センターなどの上部空間の市民開放を継続するとともに、入江崎水処理センター上部施設等の整備に向け、塩浜3丁目土地利用計画や川崎市地球温暖化対策推進基本計画などとの整合を図り、関係局と連携し有効活用の具体化に向けた検討を行いました。</p>
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値								
			実績								
2	説明		計画目標値								
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		下水	予算額	—	—		
		繰越				0	
		予算額				0	
		決算額				0	
		予算額				0	
		繰越				0	
		予算額				0	
		決算額				0	

(単位：千円)

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		循環型社会の構築と快適な地域環境の創造に貢献するため、着実な推進が必要となることから、今後も継続的に推進していく必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		処理水や汚泥焼却熱の有効利用を継続するとともに、下水道施設の空間利用について関係局と連携し有効活用の具体化に向けた検討を進め、循環型社会の構築と快適な地域環境の創造に向けた取組を進めたことから、施策への貢献が図られました。

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		資源・施設の有効利用については、循環型社会の構築と快適な地域環境の創造に貢献するため、着実な推進が必要となることから、今後も継続して効果的かつ効率的に事業を推進していきます。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

下水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標Ⅱ	下水道による良好な循環機能の形成	
	10年間の方向性	地球環境への配慮【環境】	
	施策 19	下水道の資源・施設の有効利用	
	取組 47	再生資源利用の推進	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	下水道工事で発生する建設副産物のリサイクルを進め、循環型社会の構築と快適な地域環境の創造に貢献します。		
取組の概要	下水道工事で発生する建設副産物のリサイクルを推進するとともに、再生資源材料を工事に積極的に採用します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生資源材料の工事への積極的な採用</li> <li>工事で発生した建設副産物のリサイクルの推進</li> </ul>		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①再生資源材料の工事への積極的な採用</li> <li>②工事で発生した建設副産物のリサイクルの推進</li> </ul>
----------	--

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)		①再生資源材料を工事へ積極的に採用しました。 ②工事で発生した建設副産物を積極的にリサイクルしました。										
		指標分類	指標名 説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値
1	説明			計画目標値								
				実績								
2	説明			計画目標値								
				実績								
3	説明			計画目標値								
				実績								
<b>予算 決算</b> (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)				
	下水	予算額	—	—			0					
		繰越					0					
		予算額					0					
		決算額					0					
	下水	予算額					0					
		繰越					0					
		予算額					0					
決算額						0						

### 評価 (Check)

<b>今年度の取組内容に対する達成度</b>	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)  循環型社会の構築に貢献するため、着実な推進が必要となることから、今後も継続的に推進していく必要があります。
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		
<b>施策への貢献度</b>	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由  再生資源材料の採用や建設副産物のリサイクルを進め、循環型社会の構築と快適な地域環境の創造に向けた取組を進めたことから、施策への貢献が図られました。
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		

### 改善 (Action)

<b>今後の取組の方向性</b>	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性  下水道工事で発生するアスファルトコンクリート等は可能な限り再資源化し、再生資源材料として工事資材に積極的に活用するなど循環型社会の構築に向けた環境施策を継続的に実施していきます。
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		